

# 一寸法師



昔、ある所にお爺さんとお婆さんが  
住んでおりました。

二人には子供がおりませんでしたので、  
神様にお願いしました。

「どうか子供をお授け下さい。」  
すると間もなく、

小指ほどの

元気な男の子が産まれました。

お爺さんとお婆さんは大喜び。

それはそれは大切に育てました。

男の子

お爺さん

お爺さん  
お婆さん  
授ける

ところが、男の子は、いくつになっても、ちっとも大きくなりません。

「ちびっ子、ちびっ子、一寸法師やーい。」と、村の子供達にからかわれました。

ところが十歳になった時、一寸法師はお爺さんとお婆さんの前にひざまづいて、お願いしました。

「私を都に行かせて下さいませぬか。」

一寸法師

わたくし私

お婆さん

